

放課後等ディーサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表・令和 5年 3月31日

事業所名 さかいの花 若久

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	✓		使用用途にて部屋を分けている。	
	2	職員の配置数は適切である	✓		活動内容などを考慮して配置している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	✓		階段があるがリフトを取り付けている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	✓		毎日の朝礼で改善で来ているか話し合っている。その場にいないスタッフへは後日伝えている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	✓		アンケートだけでなく常にニーズや意見を伺うようにしている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	✓			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	✓		社内に監査部門があり定期的に評価を行う。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	✓		全員で参加できないような研修等は参加したスタッフが現場で還元している。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等ディーサービス計画を作成している	✓		定期的なアセスメント以外に日頃から保護者様の声は聴いている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	✓		固定の様式を使用しスタッフ間で共有できるようにしている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	✓			
適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	✓		出来上がったプログラムを再度スタッフで見直し固定化を防いでいる。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	✓		長期休業中などは普段できない活動内容を組み込むようにしている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等ディーサービス計画を作成している	✓		個々の特性に留意し、状況に合った活動が出来る様にしている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	✓			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	✓			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	✓		記録した者以外が見直し、付加え等行っている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等ディーサービス計画の見直しの必要性を判断している	✓			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	✓		ガイドラインの見直しも行いながら色々な活動に基づいて基本活動を組みあわせ工夫している。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	✓			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	✓		送迎時には必ず情報共有は行い、必要性に応じて支援会議等を要請している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		✓		現在医療的ケアの必要な児童はないので体制は取れてないが、受け入れる場合は保護者様・主治医と連絡体制は整えていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		✓		保護者様から情報はいただいているが、保育園や児童発達支援事業所からも情報をいたぐるようにしていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	✓		どの様な内容を提供するかなど保護者様と話し合い、保護者様を通じて行っている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		✓		センター主催の研修等には参加しているが個別に連携をとったことはないので機会があれば連携を取ってていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がないのない子どもと活動する機会がある		✓		それを嫌う保護者様もいるので現在行っていないが、必要性はある。今後は方法を模索していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		✓		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	✓		送迎時にお伝えしているが、必要に応じて別機会を設けている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレンツ・トレーニング等の支援を行っている		✓		保護者様へのサポートは常にしているが、専門的なペアレンツ・トレーニングは行っていない。今後は研修に参加するなどして専門性を身に付けていく必要がある。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	✓		契約時の説明に加え、必要に応じて都度説明させていただいている。	
保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	✓		センター内で解決できない場合は、相談支援専門員や関係機関へ相談し支援を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		✓		必要性も感じるが嫌がる保護者様も少なくない。開催に向けて模索していく必要はある。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	✓		窓口設置とマニュアル作成により迅速な対応が出来る様にしている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	✓		会報ではなく、個々にラインを活用し発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	✓			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	✓		言語以外のコミュニケーションツールを使用するなど工夫している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		✓		現在、事業所内でのみ行っている夏祭りなどの行事を地域機に向けて開催していけたらと思う。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	✓			マニュアル策定の周知は出来てるが内容の周知までは至っていないので、今後内容を周知する機会を作っていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	✓		専門業者に依頼し来所してもらっている。	
非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	✓			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	✓		スタッフ自身が身体拘束について理解する機会を設け、保護者への説明を行う。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	✓			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	✓		デイ内だけでなく、社内全体で行っている。	